

西洋なし (ラ・フランス)

発芽 展葉 開花始 満開 落花 収穫盛
3.25 4.17 4.22 4.26 5.2 10.10

平年値 (栗根市産園) 北村山農薬技術普及課調査

散布時期	適用病害虫名	散布薬剤名及び散布濃度 (薬液100ℓ当たり)		農業使用基準		10a当たり 散布量	注意事項 (収穫前日数 総使用回数) を表す	散布日 (月/日)	使用薬剤	使用 濃度
				収穫前 使用時期	総使用 回数					
休眠期	胴枯病	1. バッチレート	原液	剪定時及び 病患部削り 取り直後	塗布は 3回以内		1. 輪紋病のいぼ皮病斑や胴枯病斑が枝幹部にあるので、粗皮削りを必ず行い、病斑部を削り取り、胴枯病の病斑部へ塗布する。2. 削り取りができない場合にも病斑部への塗布は必ず行う。 2. 胴枯病の進行した枝は切除し、園外に持ち出し処分する。	/		
発芽前(3月下旬)	ハダニ類 越冬病害虫 輪紋病 胴枯病 カイガラムシ類幼虫	1. ハーベストオイル 2. 石灰硫黄合剤 又は、 3. トップジンM水和剤 アブロードフロアブル	(98ℓ) 1,500倍(66.6g) 50倍(2ℓ) 10倍(10ℓ) 1,000倍(100g) 1,000倍(100cc)	発芽前 発芽前 前日まで 30日前まで	6回以内 2回以内	300ℓ	1. 胴枯病の見られる園は石灰硫黄合剤を使用する。先にハーベストオイルを溶かしてから石灰硫黄合剤を混用し直ちに散布する。	/		
開花直前 (4月中～下旬)	黒斑細菌病 心腐れ症(胴枯病菌) シンクイムシ類 ハマキムシ類	1. デランフロアブル 2. サムコフロアブル10	1,000倍(100cc) 5,000倍(20cc)	60日前まで 前日まで	4回以内 3回以内	300ℓ	1. デランフロアブルは、散布時間により葉斑が出る場合があるので乾きやすい時に散布する。	/		
4月下旬(1回目)	ナシヒメシンクイ	ナシヒメコン		10a当り100本を設置			詳細は2ページを参照			
満開10日後 (5月上旬)	黒斑細菌病 心腐れ症(胴枯病菌) (シンクイムシ類) (ハマキムシ類)	1. デランフロアブル	1,000倍(100cc)	60日前まで	4回以内	450ℓ	1. アブラムシ類発生園ではウララDF 2,000倍(収穫14日前まで、2回以内)を加用する。 2. シンクイムシ類、ハマキムシ類発生園ではフェニックスフロアブル 4,000倍(前日まで、2回以内)を加用する。 3. 胴枯病は、この時期から胞子の飛散が始まるので防除間隔をあげよう注意する。	/		
この回以降の散布は殺虫剤解禁後とする										
5月中旬	輪紋病 シンクイムシ類 アブラムシ類 カメムシ類	1. オキシラン水和剤 2. トップジンM水和剤 3. タントツ水溶性 4. (バイカルティ)※2	600倍(166.6g) 1,500倍(66.6g) 2,000倍(50g) 1,000倍(100g)	3日前まで 前日まで	9回以内 6回以内 3回以内	450ℓ	1. 胴枯病の萎凋枯死花そうや、枯死枝を除去し、焼却する。胴枯病患部の削り取り灰や核の切り口にバッチレート(せん定時及び患部削り取り直後、3回以内)を塗布する。	/		
5月下旬	輪紋病 胴枯病 シンクイムシ類	1. カナメフロアブル 2. ダイアジン水和剤34	4,000倍(25cc) 1,000倍(100g)	前日まで 14日前まで	3回以内 6回以内	450ℓ		/		
6月上旬	輪紋病 胴枯病 アブラムシ類 カイガラムシ類 (シンクイムシ類)	1. スクレアフロアブル 2. コルト顆粒水和剤 3. (バイカルティ)※2	3,000倍(33.3cc) 3,000倍(33.3g) 1,000倍(100g)	前日まで 前日まで	3回以内 3回以内	450ℓ	1. 黒斑細菌病の果実や枝は徹底して切除して処分する。 2. シンクイムシ類発生園ではコルト顆粒水和剤に替えてスカウトフロアブル※1 2,000倍(前日まで、5回以内)を散布する。 3. コルト顆粒水和剤はルレクチュの果実に葉害が生じるおそれ、混植園ではトランスフォームフロアブル2,000倍(前日まで、3回以内)に替えて散布する。	/		
6月中旬	輪紋病・胴枯病 シンクイムシ類 アブラムシ類 ハダニ類	1. アピオン-E(展着剤) 2. トップジンM水和剤 3. タントツ水溶性 4. ダニコングフロアブル 5. (バイカルティ)※2	2,000倍(50cc) 1,500倍(66.6g) 2,000倍(50g) 2,000倍(50cc) 1,000倍(100g)	前日まで 前日まで	6回以内 3回以内 1回	500ℓ	1. この時期より雨が多い場合は輪紋病の感染が多くなるので散布間隔をあげないように注意する。 2. カイガラムシの被害が発生している園地ではモバントフロアブル 2,000倍(14日前まで、3回以内)を散布する。ただし、おとうへの飛散に注意する。	/		
6月下旬	輪紋病 シンクイムシ類 カメムシ類	1. アピオン-E(展着剤) 2. オキシラン水和剤 3. テルスターフロアブル※1 4. (バイカルティ)※2	2,000倍(50cc) 600倍(166.6g) 3,000倍(33.3cc) 1,000倍(100g)	3日前まで 前日まで	9回以内 2回以内	500ℓ	1. オキシラン水和剤は、おとうへの飛散に注意する。 2. 降雨前防除を基本とするが、強い雨で薬液が乾く前に流された時は再散布する。 3. この時期は、特に適量散布に留意する。	/		
7月上旬	輪紋病 シンクイムシ類 カメムシ類	1. アピオン-E(展着剤) 2. ハー15フロアブル 3. テルスターフロアブル※1	2,000倍(50cc) 2,000倍(50cc) 3,000倍(33.3cc)	前日まで 前日まで	2回以内 2回以内	600ℓ	1. シンクイムシ類の発生が見られる園地では防除間隔があかないように注意する。 2. ナリアWDGはルレクチュの果実に葉害が生じるおそれがあるので、混植園ではファンタジスタ顆粒水和剤3,000倍(前日まで、3回以内)に替えて散布する。 3. 降雨が続く場合や強い降雨の後は、次回散布まで間隔をあげない。	/		
7月中旬	輪紋病 シンクイムシ類 アブラムシ類 カイガラムシ類 ハダニ類	1. アピオン-E(展着剤) 2. オキシラン水和剤 3. オリオン水和剤40 4. マイトコーネフロアブル 5. (バイカルティ)※2	2,000倍(50cc) 600倍(166.6g) 1,000倍(100g) 1,000倍(100cc) 1,000倍(100g)	3日前まで 3日前まで	9回以内 2回以内 1回	600ℓ	1. カメムシ類の発生園ではオリオン水和剤40に替えて、テルスター水和剤※1 1,000倍(前日まで、2回以内)を散布する。	/		
7月下旬(2回目)		ナシヒメコン		10a当り50本を追加設置			詳細は2ページを参照			
7月下旬	輪紋病 胴枯病 シンクイムシ類 カメムシ類	1. アピオン-E(展着剤) 2. トップジンM水和剤 3. オキシラン水和剤 4. モスピラン顆粒水溶性 5. (バイカルティ)※2	2,000倍(50cc) 1,500倍(66.6g) 600倍(166.6g) 2,000倍(50g) 1,000倍(100g)	前日まで 3日前まで 前日まで	6回以内 9回以内 3回以内	600ℓ		/		
8月上旬	輪紋病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 (ハダニ類)	1. アピオン-E(展着剤) 2. オキシンドー水和剤80 3. バイスロイドEW※1	2,000倍(50cc) 1,200倍(83.3g) 2,000倍(50cc)	3日前まで 7日前まで	9回以内 2回以内	600ℓ	1. りんごつがるの隣接園では8月5日頃までに終了する。(オキシンドー水和剤80はりんごで収穫14日前まで) 2. ナリアWDGはルレクチュの果実に葉害が生じるおそれがあるので、混植園ではファンタジスタ顆粒水和剤3,000倍(前日まで、3回以内)に替えて散布する。 3. ハダニ類の発生がみられた場合はコロマイト水和剤2,000倍(前日まで、1回)を加用散布する。コロマイト水和剤はおとう、ももに登録がないので飛散させない。 4. ベルコート水和剤は銜桃種、ルレクチュに葉害のおそれがあるので飛散させない。	/		
8月中旬	輪紋病 シンクイムシ類 カメムシ類	1. アピオン-E(展着剤) 2. フリトフロアブル25 3. バリアド顆粒水和剤	2,000倍(50cc) 2,000倍(50cc) 2,000倍(50g)	前日まで 前日まで	4回以内 3回以内	600ℓ		/		
8月下旬	輪紋病、胴枯病 シンクイムシ類	1. アピオン-E(展着剤) 2. トップジンM水和剤 3. エクスレールSE	2,000倍(50cc) 1,500倍(66.6g) 5,000倍(20cc)	前日まで 前日まで	6回以内 3回以内	600ℓ	1. 早生種(オーラ等)、中生種(バード等)はトップジンM水和剤に替えてオキシンドー水和剤80 1,200倍(3日前、9回以内)を使用する。なお、他樹種への飛散に注意する。	/		
9月上旬	輪紋病 シンクイムシ類 カメムシ類	1. オキシンドー水和剤80 2. アグロスリン水和剤※1	1,200倍(83.3g) 1,000倍(100g)	3日前まで 前日まで	9回以内 3回以内	600ℓ	1. ナシヒメシンクイの発生、産卵時期なので、散布むらのないようにていねいに散布する。	/		
9月中旬	輪紋病 シンクイムシ類 カメムシ類	1. ファンタジスタ顆粒水和剤 2. アグロスリン水和剤※1	3,000倍(33.3g) 1,000倍(100g)	前日まで 前日まで	3回以内 3回以内	600ℓ		/		
9月下旬	輪紋病 胴枯病 シンクイムシ類 ハマキムシ類	1. ストライド顆粒水和剤 2. バリアド顆粒水和剤	1,500倍(66.6g) 2,000倍(50g)	前日まで 前日まで	3回以内 3回以内	600ℓ	1. 葉害防止の為、高温時(25度以上)の散布は避ける。 2. ストライド顆粒水和剤は日本なしに登録がないので飛散させない。	/		
収穫後	黒斑細菌病	1. アピオン-E(展着剤) 2. ICホルド-412	2,000倍(50cc) 30倍(3.3kg)	前日まで 前日まで	3回以内 2回以内	600ℓ	1. 収穫が終わっていない他樹種へ飛散させない。	/		
落葉後	越冬病害虫	1. 石灰硫黄合剤	10倍(10ℓ)	発芽前		300ℓ		/		

収穫前使用時期で「前日」とは24時間前である。 オースサイド水和剤80、キャブレート水和剤、オキシラン水和剤などキャブタンを含む剤の使用基準は合計で9回以内である。 オキシラン水和剤、オキシンドー水和剤80、キノドーフロアブルなど有機銅を含む剤の使用基準は合計で9回以内である。※1 合成ピレスロイド剤は蚕毒・魚毒が強いので、桑園・養魚池、河川などの近くでは絶対に使用しない。
※2 バイカルティは、日持ちの向上が期待できる。

西洋なし(ラ・フランス)